

郵便報知新聞
便 錦画第十号

大坂下馬六區界區津屋村農
寺田岩松明治八年六月廿二午前幸
八時病床より自殺す其由縁
此時田植の最中ゆゑあつて植つた
速とてあらうと如何あるや岩松
田に余り植あつて心外と思ひ
ある目持神をかりし働むなる其つ
くれ中病氣を引出せしや嘔吐即居
たり何日全快のまゝも不知れ後
と上のををあれと一番恥と思ひ
て長持の収りつ短刀を取つて事
情あらに及びありと妻きた五月
より病ありやく程あり此とて
歎きを視るなり其愁哀を感ずる
へ



郵便報知新聞 錦画10号 文庫10-8071-9

早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library